

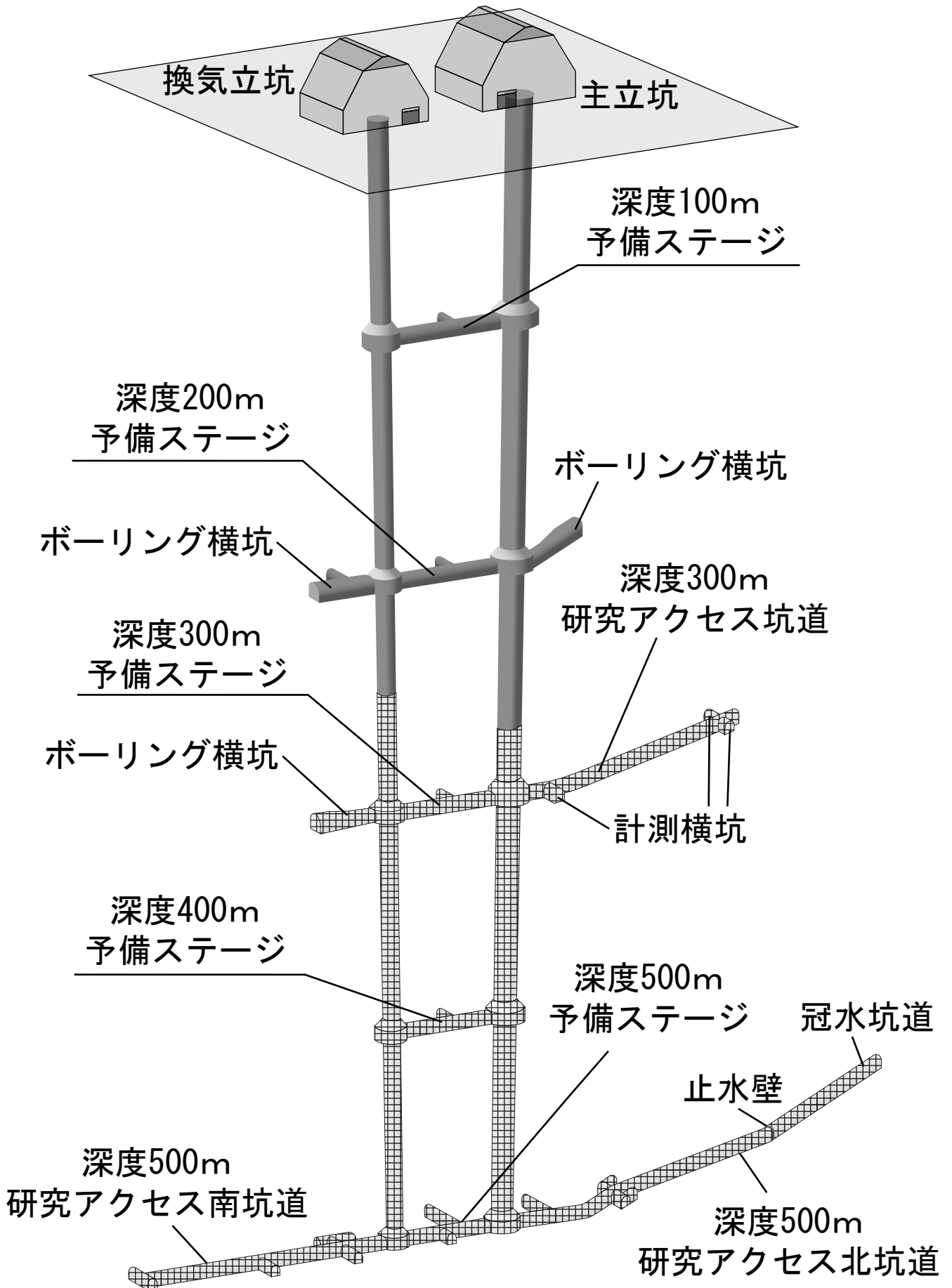
東濃地科学センターの状況

1. 瑞浪超深地層研究所研究坑道埋め戻し
 - ・主立坑:坑道埋め戻し
 - 換気立坑:坑道埋め戻し
 - ・坑内外設備の維持管理
 - ・瑞浪超深地層研究所からの排水 排水処理後放流を実施中 (2020/12月の平均排水量:594 m³/日)
2. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS): ³⁶C1 試験測定終了(2020/12/14~12/28) 装置メンテナンス中(2021/1/4~)
3. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続
4. 地下水の環境モニタリング調査
 - [瑞浪超深地層研究所用地]
 - ・深度300mのボーリング横坑(換気立坑)における鉛直ボーリング孔(09MI17-1・09MI19号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度100m、深度200m、深度300m及び深度400mの水平坑道(予備ステージ)における水平ボーリング孔(05MI01・07MI07・09MI20・10MI26号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度300m研究アクセス坑道における水平ボーリング孔(10MI23号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度300m研究アクセス坑道における水平ボーリング孔(09MI21号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度500m研究アクセス南坑道における水平ボーリング孔(12MI32号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度500m研究アクセス北坑道におけるボーリング孔(12MI33)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度500m研究アクセス北坑道におけるボーリング孔(13MI39~41)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度500m研究アクセス北坑道、予備ステージ、冠水坑道での地下水水圧・水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-1-4・05ME06号孔・MIZ-1号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・換気立坑接続部(深度500m、深度400m)での水圧・水質観測を継続
 - ・主立坑、換気立坑での地下水水質観測を継続
 - [正馬様用地]
 - ・地表からのボーリング孔(AN-1, MIU-2~4号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - [広域地下水流動研究対象地域]
 - ・地表からのボーリング孔(DH-2, 10, 11, 13, 15号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
5. 瑞浪超深地層研究所環境調査
 - ・流量観測を継続(狭間川)
 - ・水位観測を継続(研究所周辺井戸)
 - ・研究坑道掘削土に関する環境管理測定を継続
 - ・環境保全協定に基づく排出水等の測定を継続
 - ・騒音・振動調査を実施(研究所用地周辺)
6. 瑞浪超深地層研究所における施設利用等
 - ・東濃地震科学研究所の施設利用(研究坑道内に設置した応力計、地震計及び水圧計による観測)を継続

7. その他

- 東濃地科学センター「サイエンスカフェ（温泉はどこから来たのか?）」を開催延期（当初 1/30 予定）
- 東濃地科学センター「サイエンスカフェ（我々はなぜ人類誕生以前の歴史をすることができるのか）」を開催予定（2/20）
- 第 34 回 東濃地科学センターセミナー「花崗岩から生命は誕生したのか?～瑞浪の地底から最新情報～」を開催予定（2/11）

坑道埋め戻し状況 (2021. 1. 15現在)



埋め戻し完了範囲